

第2回 茨城大学重点研究ジョイントシンポジウム

つながると見えてくる世界：土と微生物と人も？



茨城大学の重点研究である“農医連携プロジェクト”と
“つながる微生物の不思議プロジェクト”がジョイントシンポジウムを開催します。
今回は、それぞれのプロジェクトから活発に研究を行っているお二人を招き、
話題提供をいただきます。
また、私たちのプロジェクトからも最近の成果を発表し情報交換を行います。
発想力の勝負で、ユニークな研究を動かしましょう！皆様の参加をお待ちしております。

日時 **2019年 3月14日(木)** 13:00~17:00

場所 **茨城大学農学部 講義棟100番教室**
阿見町中央 3-21-1

招待講演



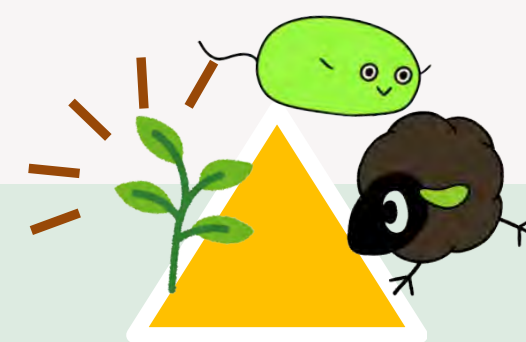
「**鉦山跡地の自生植物における重金属耐性機構の解明**
山路 恵子（筑波大学） **-内生菌の関与を考慮して-**」

「**仲の良い細菌はキノコの発育を助ける？**
小長谷 啓介（森林総合研究所） **-菌根菌と細菌の関係を探る-**」

「**精神的ストレスが腸内環境に与える影響**
高山 喜晴（農研機構 畜産研究部門）

「**腸内環境からころろを考える**
辻 典子（産業技術総合研究所）

成果発表



「**エンドファイトでトマトを栽培すると？**
野口 愛（茨城大学農学部）

「**フクレミカンの皮でころろが強くなるか？**
佐藤 瑞穂（東京農工大学連合大学院）